

寄り道が 「道」 になる

Jimbo
みらい発見ゼミ
～大学生編～
Vol.2

1/21(水)

まっすぐ進むだけが、「道」じゃない

社会の変化が速い今、キャリアの形も一つではありません。
少し脇道にそれた経験が、思いがけず新しい可能性を開くこともあります。
「Jimboみらい発見ゼミ～大学生編～」は、
そんな“寄り道”の先にある未来を見つけるためのゼミです。
神保町という街の文化資源と、各分野のバイオニアたちとの対話を通して、
あなた自身の“しなやかなキャリア構想力”を育てます。

対象 大学生(15名程度)
期間 2025.12～2026.2
(毎月1回・全3回、連続受講可)
第2回は1/21(水)
時間 平日18:00～20:00
参加費 無料
申し込み Peatixから(事前申込制・先着順) 申込はこちら



参加無料

Jimboみらい発見ゼミ～大学生編～ Vol.2

こんな人におすすめ

- ★ 就活の「当たり前」に少し違和感を持っている
- ★ 自分に合った働き方・生き方をじっくり考えたい
- ★ 「好き」や「興味」を社会とどう結びつけるか知りたい
- ★ 世界や生き方の多様性に触れて、視野を広げたい

講師のテーマ

- ★ 複数の専門を掛け合わせ、新しい領域を切り拓く越境者
- ★ 誰も仕事と思わなかった分野を職業にした開拓者
- ★ 「好き」を極めて独自の道を築いた探求者

多様な分野で“境界を越えた”生き方をしてきた先駆者たちと出会えます！

実施概要

対象：大学生（神保町周辺大学を中心に15名程度）

期間：2025.12～2026.2

（毎月1回・全3回開催、連続受講可）

時間：平日18:00～20:00

場所：出版クラブ402号室

参加費：無料

問い合わせ：info@tcha.jp

主催：東京文化資源会議（https://tcha.jp/）

2015年発足、神保町の文化資源を活かす活動を行なっています

申し込みはPeatixから

事前申込制・先着順。定員になり次第終了



講師プロフィール

来日シリア人としての苦勞もありましたが、
イスラム世界の魅力を聞きに来てください。

タリーク・ファタヤーニ

シリア出身、フスルフィヤ（イスラム学校）を経て、2008年にアレッポ大学工学部機械工学科経営工学専攻を卒業。2016年、東京工業大学社会理工学研究科経営工学博士号を取得。在学中にSMAGROUP合同会社を設立し、日本企業向けにWEBマーケティング、ITコンサルティングサービスを提供。経営的な効果を出すための業務システムやWEB系システムの企画・導入支援を得意とする。日本ではあまりイスラムのことが知られていない、テロや危険といったイメージばかりが先行していると感じている。イスラムおよびアラブ諸国についての講演多数。アラビア書道を通して美しさのみならず、イスラム文化の面白さ、楽しさ、深さを伝えたいと考えている。

#IT #イスラム世界 #書道

使ってもらえる見せ方/魅せ方を追求することで、
「情報（データ）」の価値を高めます。

原田真喜子（はらだ・まきこ）

千葉県出身。Ph.D.（芸術工学）。専門は「情報デザイン」。現在は、つるフィールド・ミュージアムにおいて、人と自然と地域をつなぐデジタルアーカイブの構築に携わっています。学位取得後わずか1週間で渡欧し、ルクセンブルクとドイツで4年間、駐在妻として生活しました。帰国後は日本学術振興会の特別研究員-RPD制度（出産・育児による研究中断後に円滑に研究現場に復帰できるように支援する仕組み）を活用して研究職に復帰。東京大学大学院情報学環の特任研究員などを経て都留文科大学の特任講師兼学芸員です。網渡り的なワークライフバランスを保っています。

#デジタルアーカイブ #人と自然 #網渡りライフ

自分の夢を叶えたい人、待ってます。

中森保貴（なかもり・やすたか）

東京の浅草・花川戸出身。法政大学卒業後、酒類流通を学ぶため㈱信濃屋食品に入社。25歳でバーテンダーに転身し、研鑽を経て2005年、地元浅草・花川戸に「BAR DORAS」を開業。ヨーロッパの“扉”の意味を持つ店名にちなみ、扱う酒をヨーロッパ酒に特化。毎年自ら欧州各地の生産者を訪ね、現地の文化や伝統の伝道師として活動している。コロナ禍には輸入酒類販売業免許を取得。フランス・コニャックの現地で厳選した樽をプライベートボトルとして自社輸入し、アジア初上陸の銘柄を手掛けるなど、バーの枠を超えた活動を展開する。現在は国内外でコニャックセミナーの講師を務めるほか、ゲストバーテンダーとしてイベントに出演するなど、コニャック文化の普及に尽力している。

#バー #イベント開催 #海外文化

生活デザイン&アート思考で、好きなことを仕事しよう！

三上紀子（みかみ・のりこ）

大阪府出身。デザイナーを目指して進学した生活科学部住居学科で建築に出会い、住宅作家を志す。一級建築士として住宅設計からインテリアまで暮らし全般のプランニングを手掛け、住宅誌のアドバイザーとしても活躍。1997年に設計事務所を設立し、2009年には日本建築家協会の登録建築家となった。インテリアにおけるアートのコーディネートを機に「空間とアートの融合」を追求し、2018年、建築業と並行して神保町にアートギャラリーを開業。現代アートを中心に多彩な展覧会を企画する。2025年には「まち×アート」を掲げる「第1回神保町まちなかアート」の事務局長に就任。現在は日本大学創成デザイン学科非常勤講師、パブリックアート推進協議会代表などもつとめている。

#生活デザイン #建築&空間 #アート思考